

人体構造機能学

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-i-ryo-u.ac.jp

【概要】

人体構造機能学、解剖学、生理学と合わせて、解剖・生理学の知識と考え方を会得し、人体の構築と機能の恒常性を維持する機構の巧妙さを学ぶ。このシリーズの講義は、今後開講される病理学、病態学、看護学などを習得する上で基礎となるものである。

【学修目標】

人体構造機能学では、神経・感覚器の構造と機能を正しく理解し、人の生きるしくみにどのように関わっているのか説明できるようにすることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	脳・神経 1	神経系の細胞生物学を学ぶ。 神経細胞と支持細胞の機能を理解する。	濱田
2	脳・神経 2	中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 脊髄の構造と機能を理解する。	濱田
3	脳・神経 3	中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 脳幹の構造と機能を理解する。	濱田
4	脳・神経 4	中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 小脳と間脳の構造と機能を理解する。	濱田
5	脳・神経 5	中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 新皮質の機能について理解する。	濱田
6	脳・神経 6	中枢神経系の構造と機能を学ぶ。 大脳基底核、大脳辺縁系の機能について理解する。	濱田
7	脳・神経 7	脳神経と脊髄神経の構造と機能を学ぶ。 脳神経と脊髄神経の分布と役割を理解する。	濱田
8	脳・神経 8	自律神経の構造と機能を学ぶ。 交感神経・副交感神経の分布と役割を理解する。	濱田
9	感覚器 1	眼の構造と視覚を学ぶ。 眼の構造と眼球運動について理解する。	濱田
10	感覚器 2	眼の構造と視覚を学ぶ。 視覚について理解する。	濱田
11	感覚器 3	聴覚と平衡覚について学ぶ。 耳の構造と聴覚・平衡覚の機能について理解する。	濱田
12	感覚器 4	味覚と嗅覚について学ぶ。 味蕾の構造と味覚、嗅覚器の構造と嗅覚について理解する。	濱田
13	感覚器 5	感覚器としての皮膚について学ぶ。 皮膚の構造と皮膚・粘膜の感覚について理解する。	濱田
14	感覚器 6	疼痛（痛み）について学ぶ。 疼痛の意義と痛覚について理解する。	濱田
15	求心性神経・遠心性神経	神経の伝導路を学ぶ。 主な上行伝導路・下行伝導路について理解する。	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（筆記試験）100%

【教科書】

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学：人体の構造と機能（1）、坂井建雄・岡田隆夫・宇賀貴紀共著 医学書院（デジタル教科書）

【参考書】

からだが見える（メディックメディア）

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

- ・ 次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと（30分）。
- ・ 講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している